

日本医師会では、毎年地域で住民の健康を守り、地域に密着して人々の健康を支えている医師を顕彰、広く国民に伝えると共に、次代の日本を支える地域医療の大切さをアピールする事業として、平成24年「日本医師会赤ひげ大賞」を創設しました。

今回は、第3回赤ひげ大賞受賞者を中心に、全国の赤ひげに集ってもらい、それぞれが実践している地域医療、在宅医療、在宅ホスピスなどについて自由に語ってもらいます。『真実は現場にしかない』という故黒田裕子副理事長の言葉を実践している赤ひげたちの言葉から、これからの地域医療へのヒントをくみ取りたいものです。